

● 正誤表

平成 26 年 11 月及び 12 月号の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

平成 26 年 11 月 地震・火山月報（防災編）

39 ページ

・表 1 の 10 番目の 11 月 22 日 22 時 08 分の長野県北部の地震

「Ms」の欄

修正後	(6.7)
修正前	6.7

「北西」

修正後	○
修正前	

平成 26 年 12 月 地震・火山月報（防災編）

115 ページ

表 1 平成 26 年に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

・表 1 の No 8, 9 の震源時の時刻（下線部を修正）

「修正後」

8	10 月 11 日	<u>11 時 35 分</u>	青森県東方沖	36	6.1	1	青森県津軽北部（青森市花園）
9	11 月 22 日	<u>22 時 08 分</u>	長野県北部	5	6.7	3	長野県北部（長野市箱清水）

「修正前」

8	10 月 11 日	<u>22 時 08 分</u>	青森県東方沖	36	6.1	1	青森県津軽北部（青森市花園）
9	11 月 22 日	<u>02 時 25 分</u>	長野県北部	5	6.7	3	長野県北部（長野市箱清水）

121 ページ

2014 年の日本の主な火山活動

・伊豆東部火山群の本文 1 行目～11 行目の記述

修正後	<p>遠望カメラでは、噴煙などの表面現象は認められなかった。 伊豆東部を震源とする火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過している。低周波地震及び火山性微動は観測されていない。 GNSS⁴⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められない。 東伊豆奈良本に設置している体積ひずみ計や、猪山に設置している傾斜計⁶⁾ による地殻変動観測では、火山活動によるとみられる変化は認められなかった。</p>
修正前	<p>5 月 5 日 05 時 18 分に伊豆大島近海を震源とするマグニチュード 6.0 の地震が発生し、東伊豆町奈良本で震度 3 を観測した。 また、7 月下旬に伊豆大島北部を震源とする地震が増加した。このうち、28 日 17 時 05 分に発生したマグニチュード 3.7 の地震で、東伊豆町奈良本で震度 3 を観測した。 低周波地震及び火山性微動は観測されなかった。 遠望カメラでは、噴気は見られず、地殻変動にも特段の変化はなかった。</p>

129 ページ

平成 26 年（2014 年）の世界の主な地震

・ 本文左段 2 行目の記述（下線部分を修正）

修正後	2014 年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害 ^注 を伴った地震は <u>30</u> 回（2013 年は 37 回）であり、Ms (USGS の表面波マグニチュード) もしくは Mw (モーメントマグニチュード) 7.0 以上の地震は 13 回（2013 年は 17 回）であった。
修正前	2014 年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害 ^注 を伴った地震は <u>27</u> 回（2013 年は 37 回）であり、Ms (USGS の表面波マグニチュード) もしくは Mw (モーメントマグニチュード) 7.0 以上の地震は 13 回（2013 年は 17 回）であった。

・ 本文右段 1 行目の記述（下線部分を修正）

修正後	4 月 2 日、 <u>チリ</u> 北部沿岸の深さ 20km で Mw8.1 の地震（図 1 中の 5）が発生し、死者 6 人、家屋被害多数の被害を生じた。
修正前	4 月 2 日、 <u>ペルー</u> 北部沿岸の深さ 20km で Mw8.1 の地震（図 1 中の 5）が発生し、死者 6 人、家屋被害多数の被害を生じた。